

幼稚園小學校研究集會參加報告(2)

八月號記録欄で御知らせしたように、去六月十二日から十七日まで、千葉縣市川市眞間小學校で幼稚園小學校研究集會が行われた。研究集會を幼稚園が行つたことは最初のこと、その成果は各方面から注目されてゐるところである。茲に集録するものは、これに参加した東京公立幼稚園代表の感想・參觀のレポートである。前號には、小山田氏の分を掲げた。今月號には山村きよ氏のものとされたのを掲げる。(編集部)

2 眞間小學校一年A組參觀記

東京公立幼稚園代表
港区立西櫻幼稚園

山村きよ

の劈頭第一にミスアレンプローズ女史から詳しく授業の見方と、評價の仕方について御注意をうけた、その大要は、

(一) 見方について

目標が何であるかを理解しておく。この目標達成の爲にいかなる方法にとられたかを見る。

又教師はいかなる準備をしたか、それが適當であつたか。

兒童が目標にふさわしい學習活動をしてきたか、即ち兒童の學習活動が價値あるものであつたか。

ワークシヨップの花形ともいふべきデモンストレーションテイーチングの參觀は私共幼稚園関係者には一年生が割當られた。私はAクラスの授業を參觀することになった。男児二八女児三一計五九名が毎日六十分づゝ左記のような指導案のもとに四日間行われた、毎日の授業の前には必ず指導者の説明があり終つてからの一時間は各縣から集つた優秀な先生方の代表の方々によ

つて授業についての熱心なディスカッションが行われた、日頃幼年の立場から小學校低学年の授業參觀をのぞんで居た私も當面の保育に追はれていてその折もなかつたので今回は實に有意義な四日間の參觀であつた。指導計劃、實際の取扱についての一々詳しい批評は紙面が許さないで、私共保育関係者に取つて共通する参考點を二三のべて見たいと思う。まづワークシヨップ

意圖した目標以外に何か重要な成果